



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社魅力屋 上場取引所 東
コード番号 5891 URL <https://corp.kairikiya.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 宗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山川 拓人 (TEL) 075-211-3338
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	10,613	—	471	—	494	—	233	—
2024年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 234百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	41.27	40.72
2024年12月期第3四半期	—	—

(注) 2025年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	9,490	5,091	53.6
2024年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 5,091百万円 2024年12月期 一百万円

(注) 2025年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,500	—	720	—	720	—	390	69.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社グランキューブ、除外 1社(社名) 台湾魅力屋國際股分有限公司

(注) 台湾魅力屋國際股分有限公司の社名は中国語繁体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	5,651,700株	2024年12月期	5,634,900株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	31株	2024年12月期	31株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	5,651,669株	2024年12月期3Q	5,521,164株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、2025年11月14日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析を行っておりません。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調を辿っております。しかしながら、物価上昇の継続やエネルギー・原材料価格の高止まりが消費マインドを下押しし、米国の関税政策や地政学リスクの高まりが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人流の回復やインバウンド需要等により外食需要は堅調に推移しているものの、原材料価格の高騰、光熱費・建築費等のコスト上昇、人件費の高騰等が経営環境に大きく影響を与えており、経営状況は不安定であります。

このような状況のなか、当社は第3四半期連結会計期間において株式会社グランキュージューの全株式を取得し、同社を連結子会社化いたしました。これにより、当社グループは、当社（株式会社魅力屋）、2024年11月に設立した海外子会社（台湾魅力屋国際股份有限公司）、株式会社グランキュージューの3社で構成されることとなりました。

当第3四半期連結累計期間における取り組みといたしまして、当社の商品・販売施策につきましては、「餃子半額祭」、「焼きめし定食（小）半額祭」、「生ビール半額祭」、「お子さまラーメン半額祭」、「創業感謝祭」等を開催し、多くのお客様にご来店いただきました。期間限定商品につきましては、1.5カ月の間隔で「野菜たっぷり塩タンメン」、「特製肉玉醤油そば」、「背脂スタミナまぜそば」、「冷やし醤油らーめん」、「セアブラ担担麺」、「背脂スタミナらぁめん超」等を販売し、多くのお客様にご好評いただきました。また、食材価格の高騰、人件費上昇等に伴い、3月に販売価格を改定したほか、新たなコンテンツの発信による集客を行うため、公式アプリをリリースいたしました。出退店の状況につきましては、直営店を8店舗、F C加盟店等を6店舗出店いたしました。この結果、ラーメン魅力屋165店舗（うち直営店120店舗、F C加盟店等45店舗）、中食事業等10店舗の合計175店舗となりました。

海外子会社につきましては、8月に海外初出店として、「京都北白川 ラーメン魅力屋 新光三越台南小北門店」を台湾の台南市にオープンし、大変多くのお客様にご来店いただく盛況が続いております。また、子会社化した株式会社グランキュージューにつきましては、子会社化後も大きな混乱はなく、順調に営業を続けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高10,613,044千円、営業利益471,515千円、経常利益494,748千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は233,267千円となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるためセグメントごとの記載はしていません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、9,490,798千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が3,204,539千円、売掛金が481,375千円、建物及び構築物が2,444,338千円、のれんが878,647千円、敷金・保証金が677,933千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、4,399,451千円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が529,897千円、未払金が915,530千円、短期借入金が30,000千円、1年内返済予定の長期借入金が486,439千円、長期借入金が1,436,925千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,091,346千円となりました。その主な内訳は、資本金が922,825千円、資本剰余金が1,077,338千円、利益剰余金が3,082,832千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結決算への移行に伴い、2025年12月期の連結業績予想を公表いたしました。また、個別業績予想につきましても修正を行いました。詳細につきましては、2025年10月21日に開示いたしました「連結決算移行に伴う連結業績予想及び個別業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,204,539
受取手形及び売掛金	481,375
預け金	175,387
棚卸資産	44,496
その他	425,853
流動資産合計	4,331,653
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	2,444,338
その他（純額）	515,490
有形固定資産合計	2,959,829
無形固定資産	
のれん	878,647
その他	62,168
無形固定資産合計	940,816
投資その他の資産	
繰延税金資産	342,203
敷金及び保証金	677,933
その他	238,362
投資その他の資産合計	1,258,499
固定資産合計	5,159,144
資産合計	9,490,798

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2025年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	529,897
短期借入金	30,000
1年内返済予定の長期借入金	486,439
未払金	915,530
未払法人税等	90,189
賞与引当金	64,599
株主優待引当金	5,111
資産除去債務	5,599
その他	251,111
流動負債合計	2,378,476
固定負債	
長期借入金	1,436,925
資産除去債務	472,876
その他	111,173
固定負債合計	2,020,974
負債合計	4,399,451
純資産の部	
株主資本	
資本金	922,825
資本剰余金	1,077,338
利益剰余金	3,082,832
自己株式	△93
株主資本合計	5,082,902
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	8,444
その他の包括利益累計額合計	8,444
純資産合計	5,091,346
負債純資産合計	9,490,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	10,613,044
売上原価	3,182,911
売上総利益	7,430,133
販売費及び一般管理費	6,958,617
営業利益	471,515
営業外収益	
受取利息	3,611
受取賃貸料	15,723
受取手数料	11,004
その他	31,445
営業外収益合計	61,785
営業外費用	
支払利息	8,203
賃貸費用	15,810
その他	14,537
営業外費用合計	38,551
経常利益	494,748
税金等調整前四半期純利益	494,748
法人税、住民税及び事業税	223,373
法人税等調整額	38,108
法人税等合計	261,481
四半期純利益	233,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,267

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	
四半期純利益	233,267
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,571
その他の包括利益合計	1,571
四半期包括利益	234,838
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	234,838

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	209,469千円
のれんの償却額	14,892千円

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

当社は2025年11月14日開催の取締役会において株式会社エムピーキッチンホールディングスの全株式を取得し子会社化するため、株式譲渡契約を締結することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社は「マルチブランドによる持続的成長モデルの構築」を重要な成長戦略の柱の一つと位置付けております。株式会社エムピーキッチンホールディングスは、子会社である株式会社エムピーキッチンが、ラーメン市場において認知度も高く規模も大きな優良なブランドである「三田製麺所」を運営しており、高い顧客支持と安定的な収益基盤を形成しています。また、同社の直営店71店舗とつけ麺業態による拡大に加え、サプライチェーンや同業界による事業の管理プラットフォーム化などのシナジーが見込まれると考え、同社の全株式を取得することといたしました。

(2) 株式取得の相手先名称

- ・投資事業有限責任組合アドバンテッジパートナーズⅤ号
- ・AP Cayman Partners III, L.P.
- ・Japan Fund V, L.P
- ・アドバンテッジパートナーズ投資組合66号

(3) 被取得企業の名称、事業内容、資本金

- ・被取得企業の名称：株式会社エムピーキッチンホールディングス
- ・事業内容：4つのブランドを展開する飲食業
- ・資本金：50,000千円

(4) 取得する株式の数、株式取得価額及び取得後の所有株式数

- ・取得する株式の数：普通株式 6,100,000株
A種優先株式 1,000,000株
- ・株式取得価額：5,000,000千円
- ・取得後の所有株式数：7,100,000株（議決権所有割合 100%）

(5) 支払資金の調達方法

- ・金融機関からの借入

(6) 株式取得の時期

- ・株式譲渡契約締結日：2025年11月14日
- ・株式譲渡実行日：2026年1月7日（予定）